

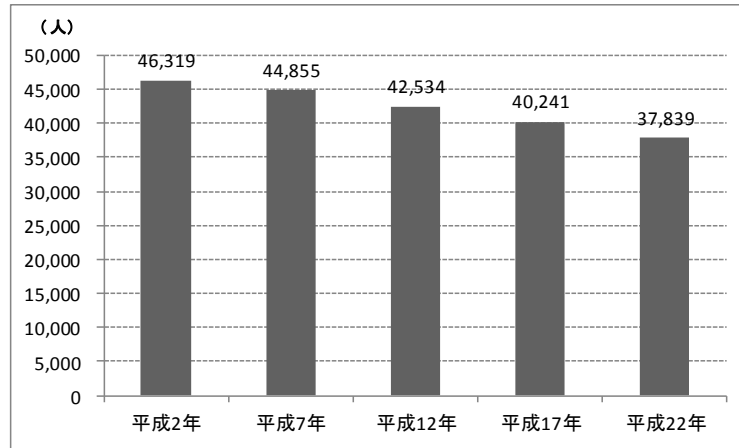
第 2 章 備前市の概況

1. 備前市の人口

①人口の推移

人口は年々減少傾向にあり、平成 22 年には 4 万人を割り込んでいます。平成 2 年から比較すると、20 年間で約 2 割減少しています。

【図 1-1 人口の推移】

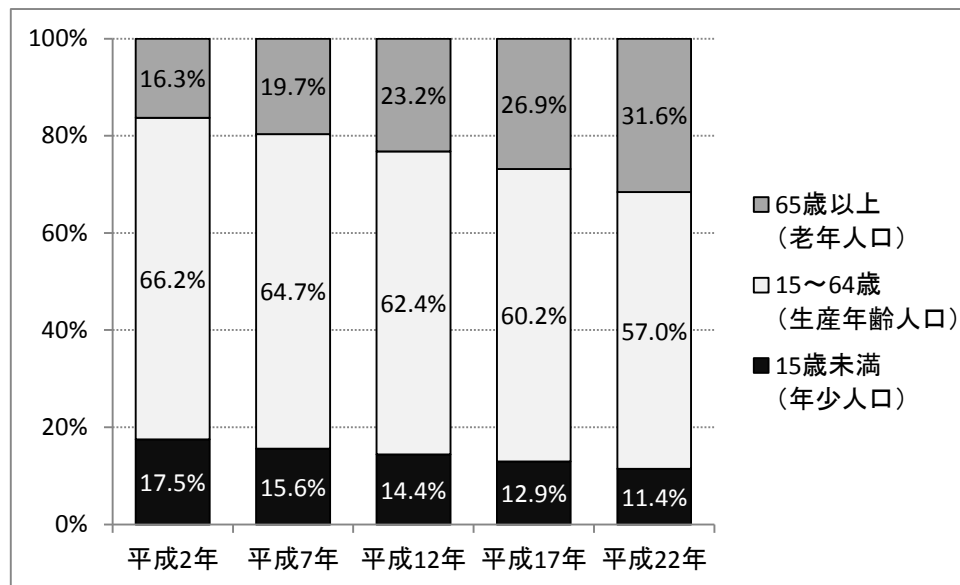


出典:国勢調査

②年齢別構成比の推移

65 歳以上の老年人口の割合は年々上昇しており、平成 22 年には 31.6%と、20 年前の約 1.9 倍となっています。また、平成 7 年からは 15 歳未満の年少人口が老年人口を下回っています。

【図 1-2 年齢別構成比の推移】

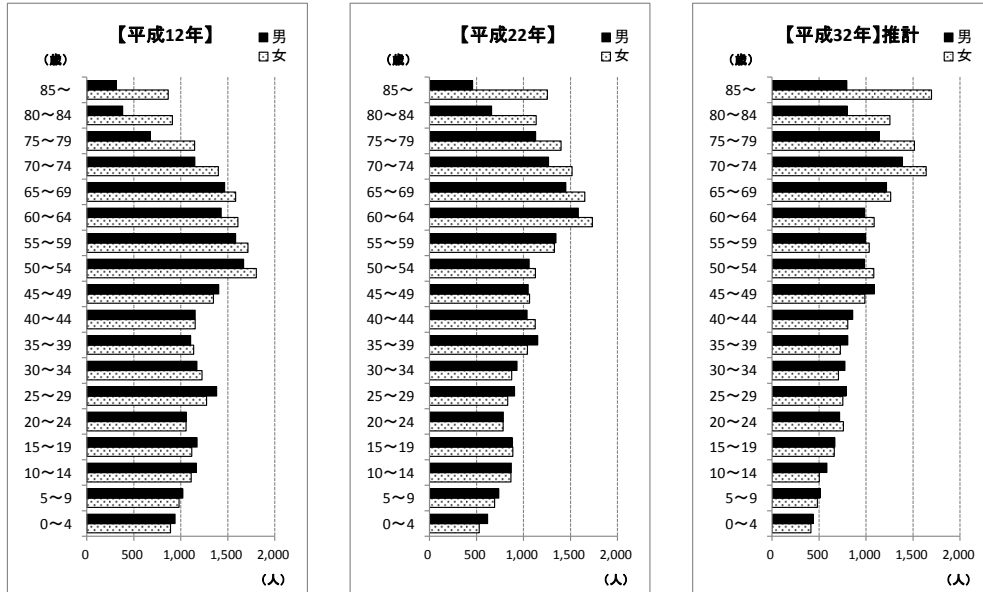


出典:国勢調査

③男女別年齢階級別ピラミッド

今後も年少人口・生産年齢人口の減少が続く一方、高齢化率の上昇が続くと予想されており、平成32年の高齢化率は38.7%と推計されています。

【図1-3 男女別年齢階級別ピラミッド】



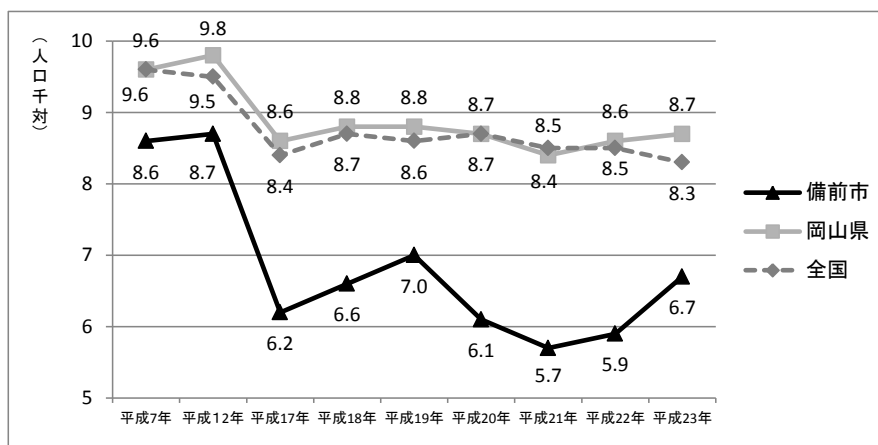
出典：国勢調査(平成12年・22年)、国立社会保障・人口問題研究所(平成32年推計)

2. 出生の推移、死亡の推移

①出生の推移

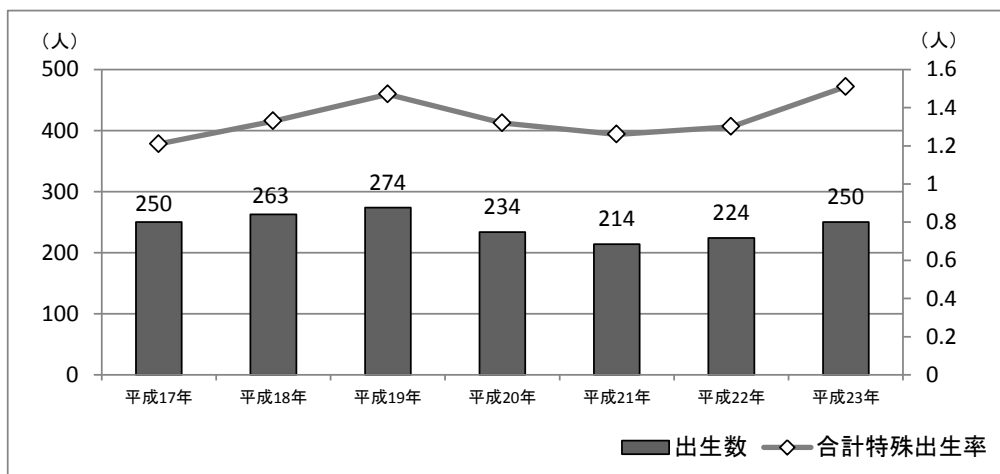
出生率(人口千対)は減少傾向ですが、平成22年は前年より増加しています。岡山県や全国と比較すると出生率は低い値で推移しています。

【図1-4 備前市・岡山県・全国の出生率の推移】



出典：備前保健所・東備保健所業務概要報告書(備前市・岡山県)、人口動態統計(全国)

【図 1-5 出生数と合計特殊出生率の推移】



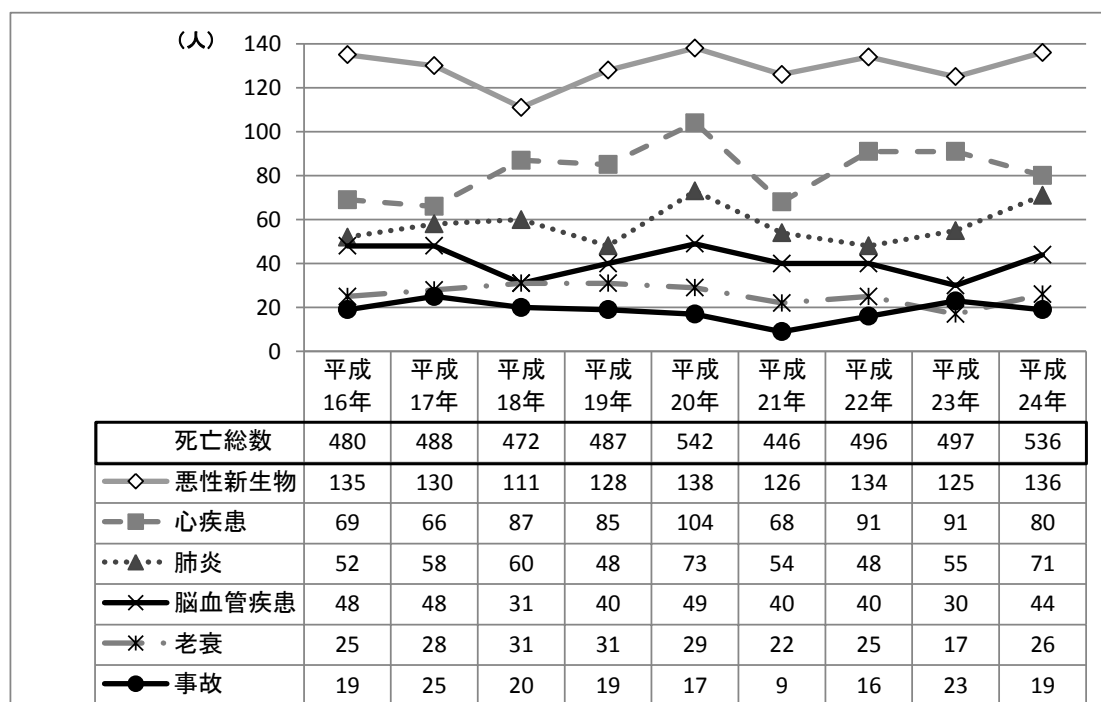
出典：備前保健所・東備保健所業務概要報告書、衛生統計年報（岡山県保健福祉部）

※合計特殊出生率：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯に産むとされる子どもの数。

②主要死因別死亡数の推移

悪性新生物による死因が最も多い状態が続いています。心疾患は、平成21年に大きく減少し、翌年の平成22年に増加していますが、その後は減少傾向となっています。肺炎は平成22年から増加傾向となっています。

【図 1-6 主要死因別死亡数の推移】

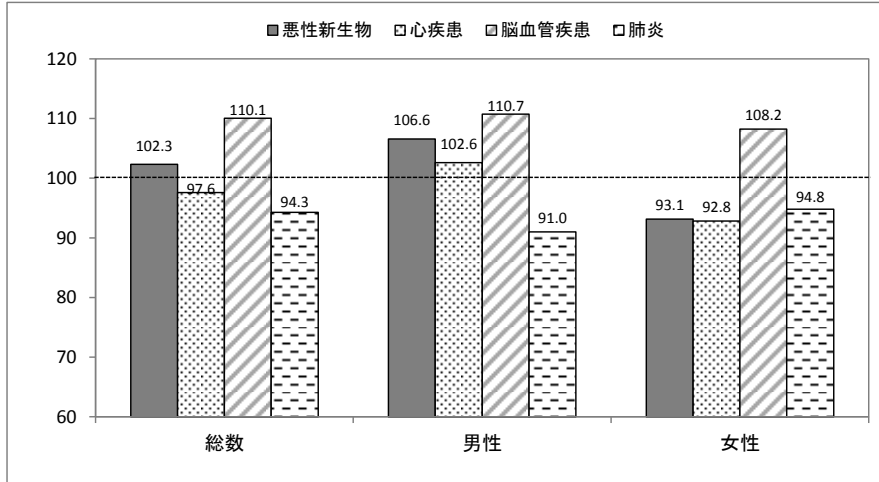


出典：備前保健所・東備保健所業務概要報告書

③死因別性別標準化死亡比（SMR）（平成 19～23 年）

男性・女性ともに脳血管疾患による死亡比が最も高く、次いで、男性では悪性新生物が、女性では肺炎による死亡比が高くなっています。

【図 1-7 死因別性別標準化死亡比（SMR）（平成 19～23 年）】



出典：岡山県集計

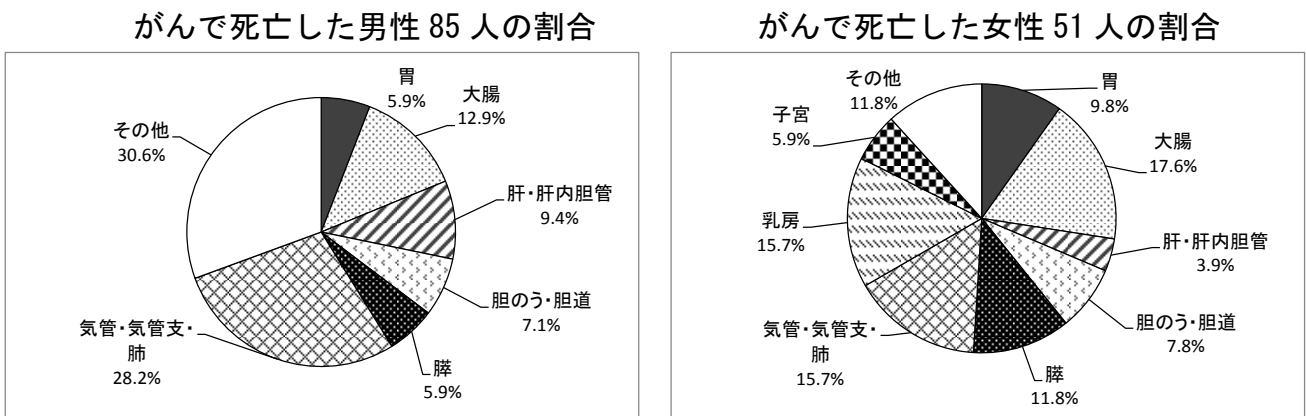
※標準化死亡比(SMR)：ある地域の死亡者数を全国と比較する場合、該当地域の人口構成を全国の標準的な人口構成比率で調整したうえで比較した値。基準値 100 が全国レベルであり、値が高くなるほど、死亡者が多いことを示します。今回は岡山県を基準値 100 として比較しています。

④平成 24 年がん部位別死亡割合

がん部位別死亡割合が最も高いのは、男性では気管・気管支・肺となっています（その他を除く）。次いで、大腸、肝・肝内胆管と続いています。

女性では、大腸の割合が最も高く（その他を除く）、次いで、気管・気管支・肺と乳房、膵と続いています。

【図 1-8 平成 24 年がん部位別死亡割合】

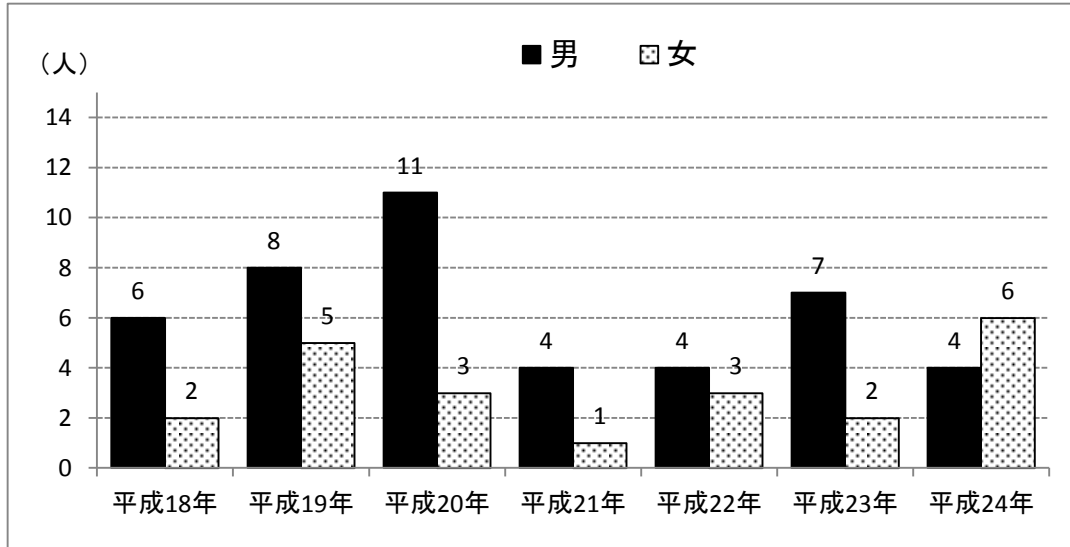


出典：人口動態統計

⑤自殺死亡数の推移

平成 20 年をピークにほぼ横ばいとなっていますが、平成 24 年には女性の自殺者が増加傾向となっています。

【図 1-9 自殺死亡数の推移】

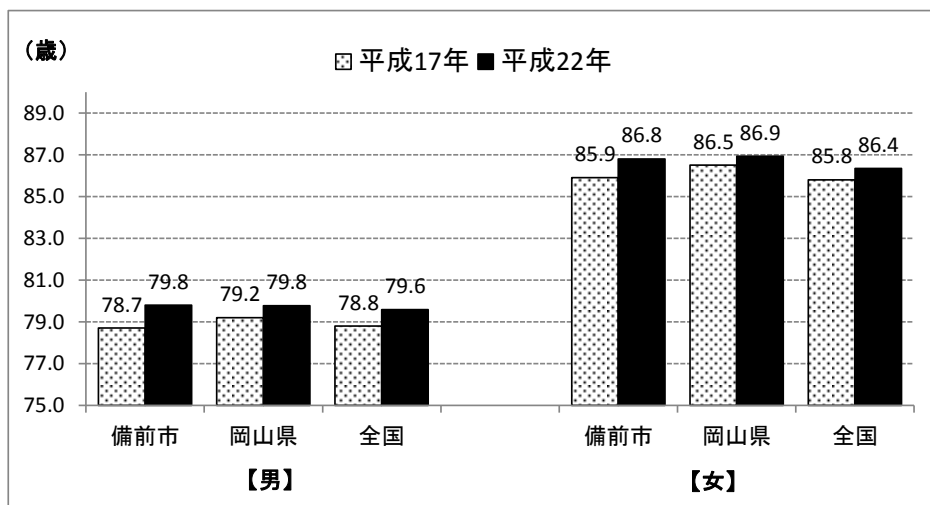


出典:備前保健所資料

3. 平均寿命

平成 17 年と比較して、全国、岡山県と同様に、備前市の平均寿命は男女ともに延びています。

【図 1-10 備前市・岡山県・全国の平均寿命】



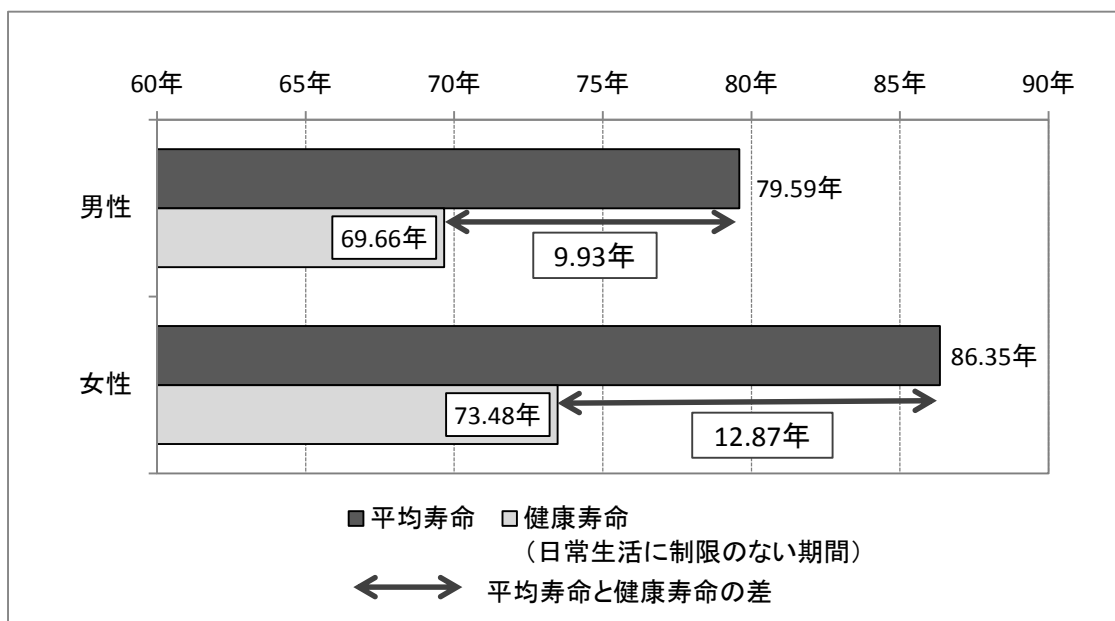
出典:平成 22 年市区町村別生命表

4. 健康寿命

岡山県の平均寿命と健康寿命

平成 22 年の岡山県の平均寿命と健康寿命の差（日常生活に制限のない期間）は、男性で 9.93 年、女性で 12.87 年となっています。

【図 1-11 岡山県の平均寿命と健康寿命】



出典:

厚生労働省 都道府県別生命表(平均寿命)

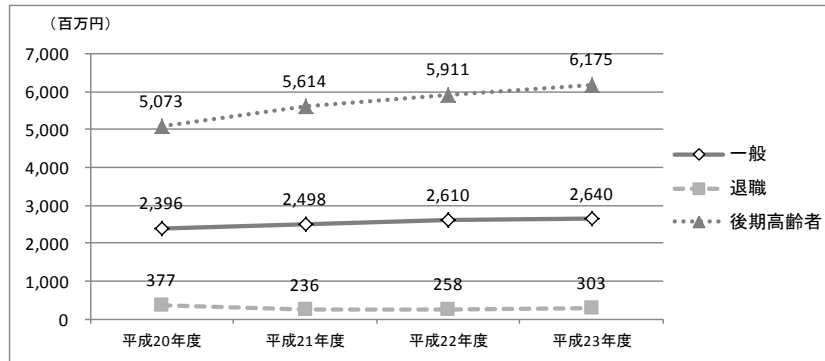
厚生労働科学研究費補助金 健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究(健康寿命)

5. 国民健康保険

①医療費の推移（医療費＝療養給付費+療養費）

医療費は増加傾向で、特に後期高齢者の医療費の伸び率が高くなっています。

【図 1-13 医療費の推移】

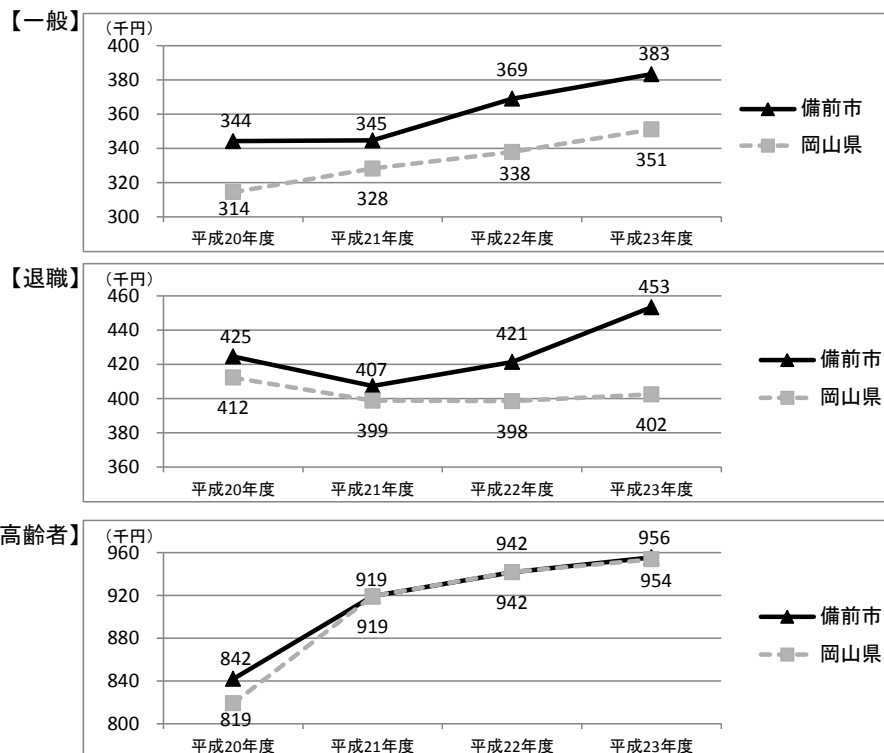


出典：国保事業報告書（一般・退職）、岡山県後期高齢者医療広域連合資料（後期高齢者）

②一人当たりの医療費の推移（医療費＝療養給付費+療養費）

一人当たりの医療費も増加傾向となっています。また、一般と退職では岡山県より高くなっています。

【図 1-14 備前市・岡山県の一人当たりの医療費の推移】



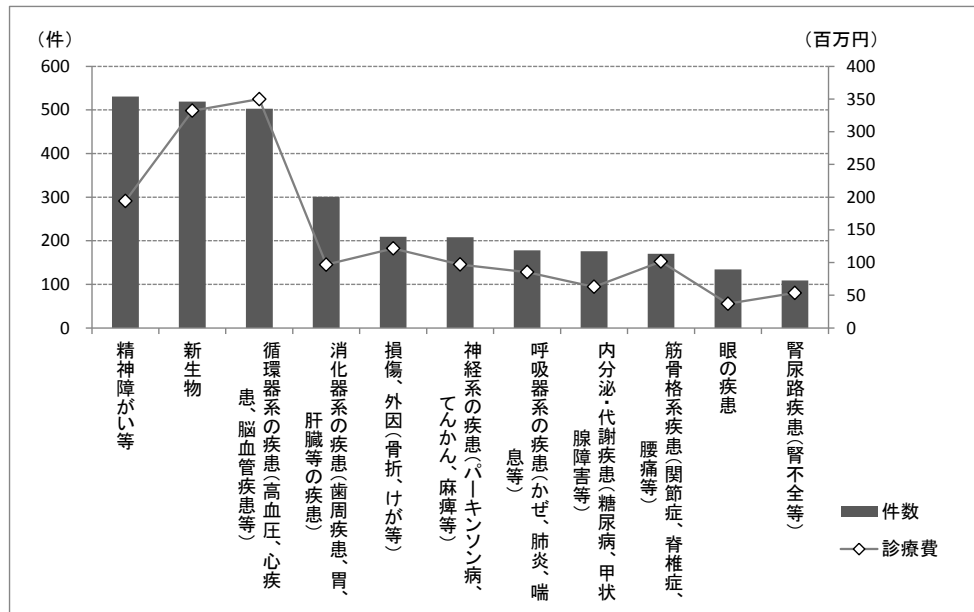
出典：国保事業報告書（一般・退職）、岡山県後期高齢者医療広域連合資料（後期高齢者）

③平成 24 年受療者の疾病別統計

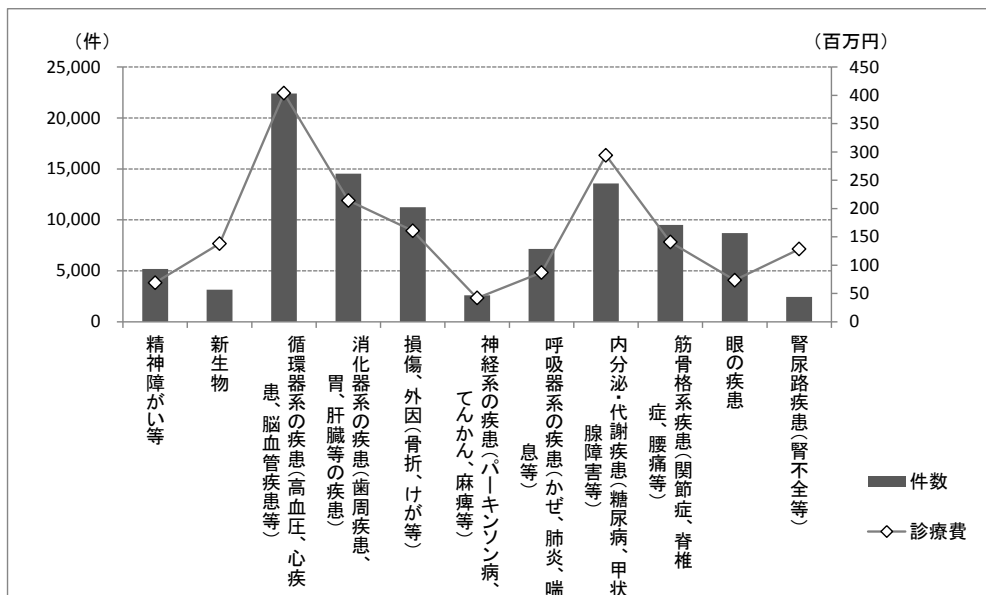
受診件数が最も多いのは入院では「精神障がい等」、外来では「循環器系の疾患（高血圧、心疾患、脳血管疾患等）」となっています。診療費が最も多いのは入院・外来ともに「循環器系の疾患（高血圧、心疾患、脳血管疾患等）」となっています。

【図 1-15 平成 24 年受療者の疾病別統計】

入院



外来



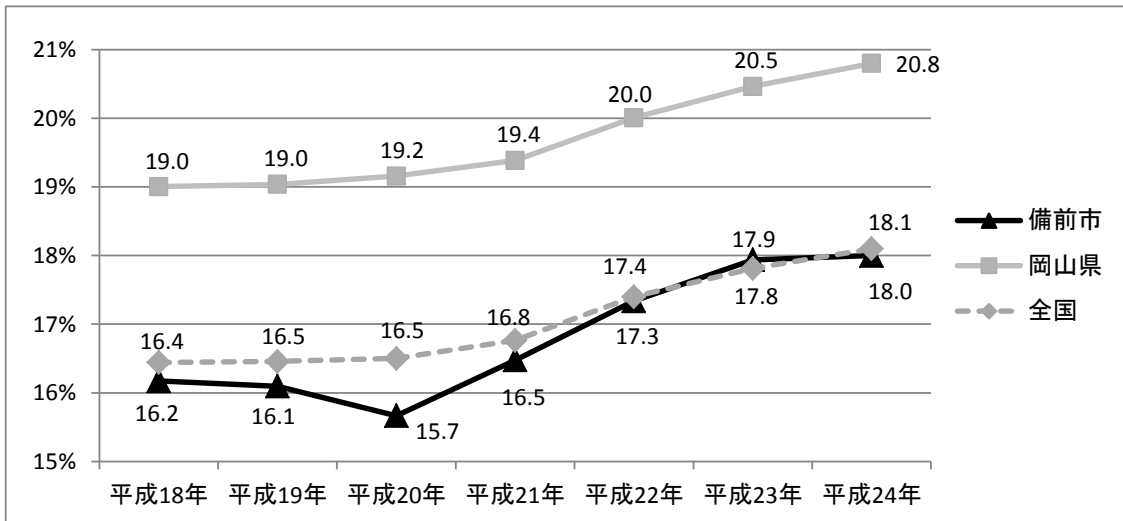
出典: 国保疾病分類統計

6. 介護認定・介護保険等の状況

①要支援・要介護認定率の推移

備前市の要支援・要介護認定率は平成20年から増加傾向となっています。岡山県と比較すると、備前市の認定率は低くなっています。

【図1-16 備前市・岡山県・全国の要支援・要介護認定率の推移】

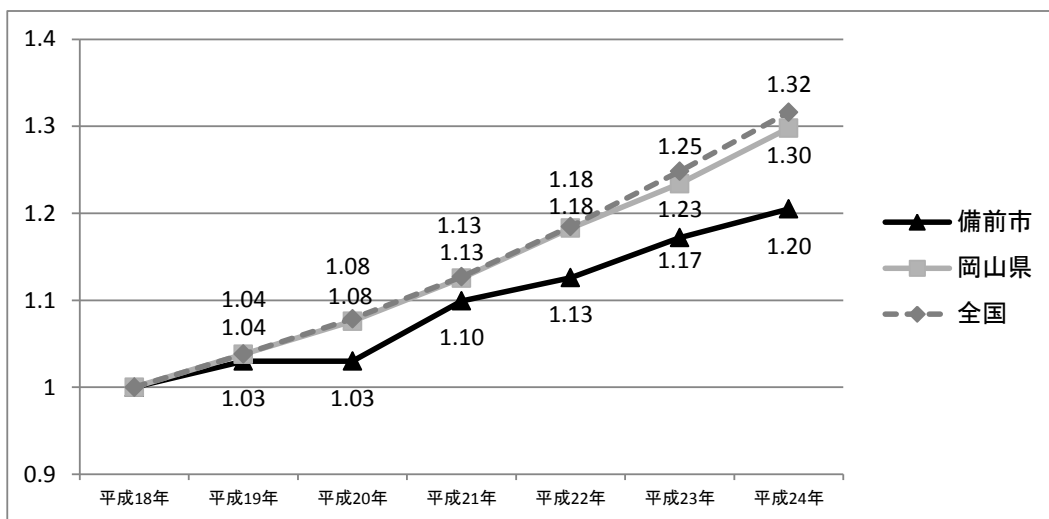


出典：厚生労働省 介護保険事業状況報告 月報(暫定版) 各3月

②介護保険サービス利用者の推移

平成18年の介護サービス利用者数を1とした場合の各年のサービス利用者の増加割合は、年々増加傾向となっています。備前市の増加割合は岡山県や全国と比較すると低くなっています。

【図1-17 備前市・岡山県・全国の介護保険サービス利用者の推移】



出典：厚生労働省 介護保険事業状況報告 月報(暫定版) 各3月